

2022年度 10月入学 2023年度 4月入学
東京農工大学大学院生物システム応用科学府博士後期課程（博士）
学生募集要項 請求方法について

交付時期 2022年5月16日（月）から小金井地区事務部学生支援室
入学試験係（管理棟1F）の窓口にて交付
（土日、祝日を除く 8:30～17:15）

※ 今年度の募集要項のご請求につきましては、下記に記載されて
いる郵送での請求を推奨いたします。

出願期間 2022年7月19日（火）から7月20日（水）まで
窓口受付時間 9:30～11:30, 13:30～16:00
（土日、祝日を除く）

※ 持参出来ない方は、郵送による手続も認めます。郵送の場合
は、出願期間内必着とします。

試験日 2022年8月23日（火）

募集要項の郵送を希望される方は、返信用封筒（角形2号・A4サイズ）に切
手（普通便 250円・速達便 510円）を貼って、下記の間い合わせ先までご請
求ください。

なお、請求の際は、宛名の横に「生物システム応用科学府博士後期課程募集要
項請求」と朱書きしてください。

【ご請求及びお問い合わせ先】

〒184-8588
東京都小金井市中町2-24-16 管理棟1F
東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係
電話 042-388-7014（土日・祝日を除く 8:30～12:00, 13:00～17:15）

2022年10月入学（第二次募集）

2023年4月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

（B A S E）

生物機能システム科学専攻

博士後期課程（博士）

学生募集要項

東 京 農 工 大 学

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

生物機能システム科学専攻のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

生物機能システム科学専攻は、複雑な生物機能に学ぶことで発想される物質生産及び変換、情報処理及び伝達、環境計測、生体計測、物質循環等に関わる様々なシステムを理解するための学問、学術分野を基盤として、農学と工学に係る幅広い実業界で活躍できる修士人材と、高度な科学的素養と課題解決力を具え、先導的な研究実施能力を有する博士人材の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

・生物に学び、その機能を生かした物質、機械、情報、医療・健康、医薬、物質循環等、様々な農工融合の新たなシステムに関心があり、これらの知識や技術の習得を通して、幅広い分野で活躍する意欲のある者。

・特定の分野の知識・技能だけでなく、関連する分野の素養を基礎として、学際的な分野への対応能力を含めた高度な専門的知識や実験・計測技術の習得に関心を持ち、これらの活用により持続可能で安全・安心な社会へ貢献する意欲のある者。

・産業界や国際的ニーズの潮流を理解し、実践的な課題の発見や課題解決に挑戦する意欲をもつ者。

(後期課程)

指導予定教員との連絡について (必須)

出願にあたっては、志望する指導予定教員へ連絡をとり、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、指導予定教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

小金井地区学生支援室入学試験係

2022年10月入学（第二次募集）2023年4月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 生物機能システム科学専攻博士後期課程（博士） 学生募集要項

本専攻は前期課程（修士）と後期課程（博士）からなり、この募集要項は後期課程（博士）についてのものである。

本学府に関する概要、所属教員の研究内容等については別添案内「東京農工大学大学院生物システム応用科学府」を参照のこと。

1 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
生物機能システム科学	10月入学：若干名 4月入学：12名	募集人員には、社会人特別選抜を含む。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

一般入試の出願資格

- (1) 修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者及び入学する月（10月又は4月）前までに当該学位を取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（10月又は4月）前までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（10月又は4月）前までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下、「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（10月又は4月）前までに当該学位を取得見込みの者
- (6) 外国の学校、上記（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(8) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者

社会人特別選抜の出願資格

(9) 各種研究機関、教育機関、企業等に勤務中の者又は最終学校卒業後職にあった者で、上記(1)～(8)のいずれかに該当する者

注) 「出願資格(7)・(8)」により出願する者は、事前審査を行う。(「出願資格(7)・(8)の認定について」7頁参照のこと。)

3 出願期間

2022年7月19日(火)～7月20日(水)まで。

窓口受付時間は、9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

4 出願手続

一般選抜により受験を希望する者は、「5 一般選抜(3頁)」の項を参照し、また社会人特別選抜により受験を希望する者は、「6 社会人特別選抜(4頁)」の項を参照し、所定の出願書類等を出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係へ持参又は郵送すること。郵送する場合は、封筒の表に「博士後期課程出願書類在中」と朱書し、書留速達で送付すること。7月20日(水)までに到着したものを受理する。

出願書類提出先及び問い合わせ先

東京農工大学小金井地区学生支援室入学試験係

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学小金井キャンパス内管理棟(1階)

TEL 042(388)7014(直通)

5 一般選抜

2022年10月入学（第二次募集）・2023年4月入学併せて実施する。

一般選抜は、学力検査と書類選考を総合して行う。

身体に障害がある者で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出ること。

(1) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。 なお、本要項 (p.6~7) で※の教員の指導を希望する場合は事前に各教員と相談すること。本要項に記載が無い指導教員名を志望する指導教員氏名欄に記入することはできない。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（タテ4cm×ヨコ3cm）を貼付すること。
C	修 了 (見 込) 証 明 書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了（見込）証明書を提出すること。ただし、出願資格 (7)・(8) に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格 (7)・(8) に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
E	修 士 論 文 の 概 要 (所 定 用 紙)	博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院に在学中の者は、修士論文の内容を日本語で2,000字（英語の場合は500words）以内に要約した概要を提出すること。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付すること。ただし、出願資格 (7)・(8) に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
F	研 究 計 画 書 (所 定 用 紙)	博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
G	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	本学府研究生（指導教員が本学府の教員である場合に限り）、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
H	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。）又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。 ただし、本学に在籍中の国費留学生は提出不要。
I	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕 ※本学の学府・研究科から引き続き本課程に進学する者及び入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
J	受 付 用 シ ー ル 及 び 連 絡 受 信 先 シ ー ル (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

(2) 学力検査

提出された修士論文の概要と研究計画などを参考にして関連する専門分野及び語学の試験を行う。

なお、論文等を外国語で発表している場合には、書類審査の上、語学の試験を行わないことがある。

(3) 学力検査日及び、場所

検査日：2022年8月23日（火）

場 所：東京農工大学小金井キャンパス内またはオンラインで実施

なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

6 社会人特別選抜

2022年10月入学（第二次募集）・2023年4月入学併せて実施する。

(1) 趣 旨

近年の生物システム応用科学の目覚ましい進展に伴い、社会の各方面から本学府で対象とする専門分野のエキスパートの養成が強く求められている。このような社会の要請及び専門技術者の再教育の必要性に応えるため、本学府博士後期課程では、社会人を積極的に受け入れ、大学と社会との一層の交流を目指す。

(2) 選抜方法

一般選抜とは別に学力検査と書類選考を総合して選抜を行う。

身体に障害がある者で受験上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出ること。

なお、一般選抜との併願は認めない。

(3) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。 なお、本要項 (p. 6~7) で※の教員の指導を希望する場合は事前に各教員と相談すること。本要項に記載が無い指導教員名を志望する指導教員氏名欄に記入することはできない。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（タテ4cm×ヨコ3cm）を貼付すること。
C	修 了 証 明 書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了証明書を提出すること。ただし、出願資格 (7)・(8) に該当する者は、提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格 (7)・(8) に該当する者は、提出不要。
E	研 究 業 績 一 覧 (所 定 用 紙) 及 び 研 究 業 績 等 の 別 刷	研究業績等（学術論文、研究発表・報告、特許等）について記入し提出すること。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合にはそれらも併せて提出すること。
F	在 職 (在 籍) 証 明 書 (様 式 随 意)	主な職歴について、所属長等が作成し職務内容及び在職期間が明記された在職（在籍）証明書を提出すること。
G	研 究 計 画 書 (所 定 用 紙)	博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
H	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	志望理由を横書きで2,000字以内にまとめること。
I	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。）又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。 ただし、本学に在籍中の国費留学生は提出不要。
J	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕
K	受 付 用 シ ー ル 及 び 連 絡 受 信 先 シ ー ル (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

(4) 学力検査

提出された研究業績、研究計画などを中心に、関連する専門分野についての口述試問を行う。

- (5) 学力検査日及び、場所
検査日：2022年8月23日（火）
場 所：東京農工大学小金井キャンパス内またはオンラインで実施
なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

7 合格者発表

2022年9月5日（月）午前10時に本学ホームページ（<https://www.tuat.ac.jp>）に掲載する。
合格者には合格通知書等を郵送する。

8 入学手続

- (1) 入学手続期日
- ① 2022年10月入学者
2022年9月16日（金）詳細は別途通知する。
 - ② 2023年4月入学者
2023年3月15日（水）詳細は別途通知する。
- (2) 入学に要する費用等
- ① 入学料……282,000円
 - ② 授業料……年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）
ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

本学（大学院連合農学研究科の構成大学を含む。）の学府・研究科修了見込みで出願する者は、本学学則第39条の2に定める「進学する者」として扱いますので、入学検定料及び入学料が不要となります。

*東京農工大学学則 第39条の2

本学（大学院連合農学研究科の構成大学を含む。）大学院の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き博士後期課程又は博士課程に進学する者の入学料及び検定料は、徴収しない。

- (3) 必要書類等
在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書（所定用紙）を提出しなければならない。
（支払った入学費用等は、返却できませんので、ご注意ください。）
また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。
なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。
- (4) その他
身体に障害がある者で修学上特別な措置を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出ること。

9 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
- (2) 学力検査には必ず、受験票を携帯すること。
- (3) 出願手続後における提出書類の内容変更は、認めない。
- (4) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (5) 入学試験に関する照会は、2頁に記載の出願書類提出先とする。
- (6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。
- (7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。
- (8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者に通知する。
- (9) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。
規制事項に該当する場合は、本学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合がある。また、経産省が国際平和・安全の維持の観点から申請を不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があるので、注意すること。
- (10) 入学後、本人の申込みに伴い、入学料・授業料免除及び奨学金団体の制度によっては、出願時の成績証明書及び入学試験の成績を使用することがある。出願時に取得した個人情報に関しては、東京農工大学のプライバシーポリシー（ホームページに掲載）に則り、適切に使用する。

10 教育研究分野教員一覧

※の教員については、5. 一般選抜 および 6. 社会人特別選抜の「(1) 出願書類等一覧 A入学志願票」欄を参照のこと。

(2022年10月入学)

教育研究分野名	教 員 名
物質機能設計	教授 荻野賢司
	教授 長津雄一郎
物質機能応用	教授 銭衛華
	准教授 稲澤晋
地盤環境学	准教授 橋本洋平
機能材料科学	准教授 中田一弥
生体医用光学	准教授 西舘泉
メディア情報学	教授 藤波香織
自然言語処理	准教授 古宮嘉那子 [※]
環境機械システム	教授 石田寛
エネルギーシステム統合	准教授 池上貴志 [※]
生体・環境応用システム	教授 上田祐樹
複雑系マイクロシステム	准教授 岡野太治 [※]
資源生物創製科学	教授 梶田真也
生物生産システム	准教授 鈴木丈詞
エネルギー化学工学	教授 神谷秀博
物質エネルギー設計	教授 富永洋一
エネルギーシステム解析	教授 秋澤淳
生物応答制御科学	教授 梅澤泰史
生態系型環境システム	教授 豊田剛己
環境モニタリングシステム	准教授 赤井伸行 [※]

(2023年4月入学)

教育研究分野名	教 員 名
物質機能設計	教授 荻野賢司
物質機能革新	准教授 村上尚
物質機能応用	教授 銭衛華
	准教授 稲澤晋
地盤環境学	准教授 橋本洋平
機能材料科学	准教授 中田一弥
生体医用光学	准教授 西館泉
メディア情報学	教授 藤波香織
自然言語処理	准教授 古宮嘉那子 ^{**}
環境機械システム	教授 石田寛
エネルギーシステム統合	准教授 池上貴志 ^{**}
ロボティクス	教授 水内郁夫
環境光システム	准教授 岩見健太郎
資源生物創製科学	教授 梶田真也
生物生産システム	准教授 鈴木丈詞
物質エネルギー設計	教授 富永洋一
エネルギーシステム解析	教授 秋澤淳
生物応答制御科学	教授 梅澤泰史
生態系型環境システム	教授 豊田剛己
環境モニタリングシステム	准教授 赤井伸行 ^{**}

出願資格 (7)・(8) の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施する。

1. 申請書類受付日時

受付日……2022年7月1日(金)～7月4日(月)

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

受付場所……小金井キャンパス管理棟(1階)小金井地区学生支援室入学試験係

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「博士後期課程出願資格認定書類在中」と朱書き、書留速達で送付すること。7月4日(月)までに到着したものを受理する。

2. 提出書類等

ア) 出願資格認定申請書(所定用紙)

イ) 卒業証明書(出身大学等最終学校長が作成したもの)

ウ) 成績証明書(出身大学等最終学校長が作成し厳封したもの)

但し、卒業後10年以上を経過した者については、提出する必要はない。

エ) 一般選拔出願者は、3頁に掲げる出願書類のうちGを、社会人特別選拔出願者は、4頁に掲げる出願書類のうち、E、F、Hを提出すること。

3. 認定審査

本学府において、提出書類及び面接等により認定審査を行う。

4. 認定結果

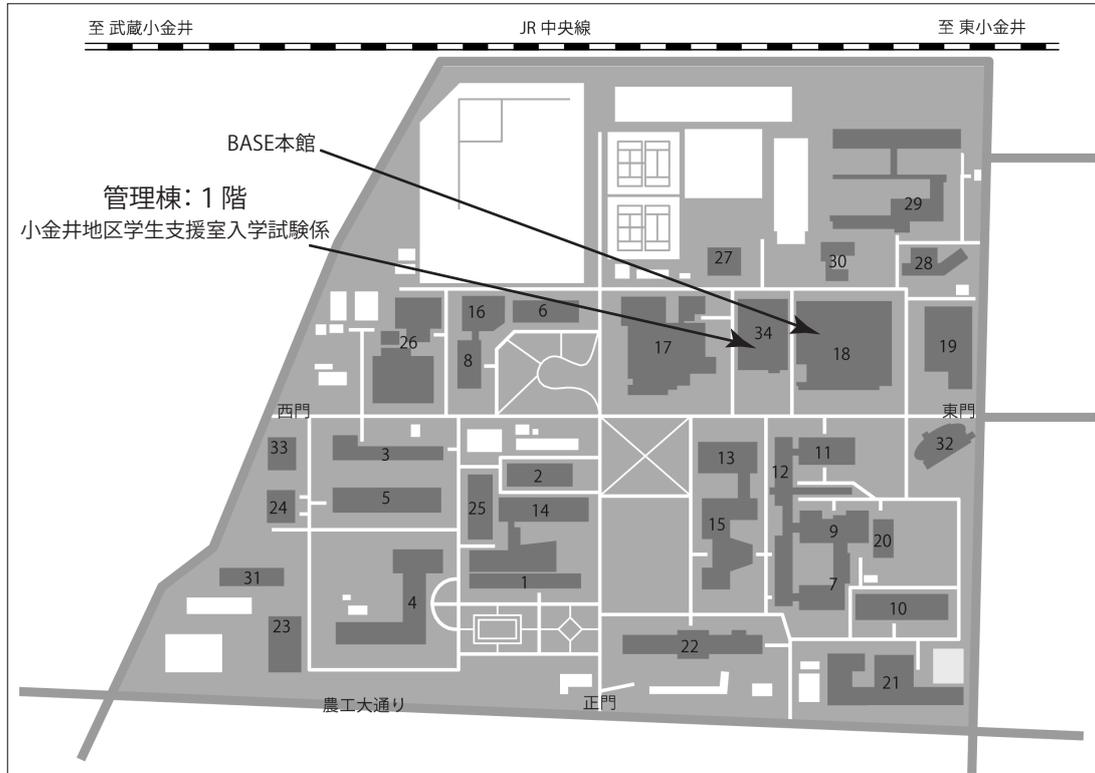
2022年7月15日(金)に郵送する。

5. 出願手続

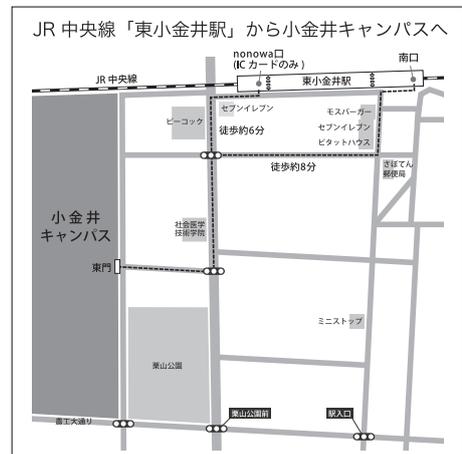
出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様に出願手続を行うこと。

11 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



1 1号館(応用分子化学科・有機材料化学科・化学システム工学科)	9 9号館(機械システム工学科)	19 工学部総合会館	32 140周年記念会館(エリプス)
2 2号館(機械システム工学科)	10 10号館(生命工学科・応用分子化学科・情報工学科)	20 CAD/CAM実習施設	33 次世代キャビタ研究センター
3 3号館(電気電子工学科・産業技術専攻)	11 11号館(生命工学科・機械システム工学科)	21 先端産学連携研究推進センター(VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	34 管理棟(愛称: CUBE)(工学部事務局)
4 4号館(有機材料化学科・化学システム工学科・物理システム工学科・産業技術専攻)	12 12号館(生命工学科・有機材料化学科・機械システム工学科・情報工学科)	22 科学博物館	
5 5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析センター・産業技術専攻)	13 13号館(国際センター)	23 先端科学実験棟	
6 6号館(機械システム工学科)	14 新1号館(応用分子化学科・電気電子工学科)	24 環境管理施設	
7 7号館(情報工学科)	15 工学部講義棟	25 ものづくり創造工学センター	
8 8号館(総合情報メディアセンター)	16 中央棟	26 体育館・武道場	
	17 小金井図書館	27 工学部RI実験研究棟	
	18 BASE本館(大学院生物システム応用科学府(B ASE))	28 小金井国際交流会館	
		29 柳寮(男子寮)	
		30 桜寮(女子寮)	
		31 小金井第2宿舎(職員宿舎)	



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約22分) nonowa口から徒歩約6分、南口から徒歩約8分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町2丁目24-16 ☎ (042) 388-7014 (直通)
小金井地区学生支援室入学試験係

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。

2022年10月入学（第二次募集） 東京農工大学大学院
 生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）

入 学 志 願 票

選 抜 区 分	一 般 選 抜 社会人特別選抜 (該当事項を○で囲むこと。)		受 験 番 号
ふ り が な 氏 名		男 ・ 女	本 籍 (又は国籍)
生 年 月 日	年 月 日 生 (歳)		都・道・府・県 (外国人は国籍)
教育研究分野名		志 望 す る 指 導 予 定 教 員	
出 身 大 学	大 学	学 部	学 科
	年 月 卒 業		
	大 学 大 学 院	研 究 科 教 育 部 学 府	(修 士 ・ 博 士 前 期)
	専 攻	年 月	修 了 ・ 修 了 見 込
勤 務 先 及 び 職 業	会 社 名 〒 TEL	役 職 名	
現 住 所	〒 TEL	E-mail	
合 格 通 知 等 受 取 場 所	〒 TEL		
履 歴 書			
学 歴	年 月	事 項	
職 歴			
備 考			
高等学校卒業から記入して下さい。なお、大学等で研究生として在学歴がある場合は、その期間も記入して下さい。 資格、賞罰等がある場合は記入して下さい。			

2022年10月入学（第二次募集）
東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻
（博士後期課程）

写 真 票

写 真 欄

写真は脱帽上半身
4cm×3cm

受験
番号

※

分
教育
研究
野

教
指
導
予
員
定

ふりがな

氏
名

生 年 月 日

年 月 日生

注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。

2022年10月入学（第二次募集）
東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻
（博士後期課程）

受 験 票

写 真 欄

写真は脱帽上半身
4cm×3cm

受験
番号

※

分
教育
研究
野

教
指
導
予
員
定

ふりがな

氏
名

生 年 月 日

年 月 日生

注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。
2 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
3 受験票は大切に保管しておくこと。

2023年4月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）

入 学 志 願 票

選 抜 区 分	一 般 選 抜 社会人特別選抜 (該当事項を○で囲むこと。)		受 験 番 号
ふ り が な 氏 名		男 ・ 女	本 籍 (又は国籍)
生 年 月 日	年 月 日 生 (歳)		都・道・府・県 (外国人は国籍)
教育研究分野名		志 望 す る 指 導 予 定 教 員	
出 身 大 学	大 学	学 部	学 科
	年 月 卒 業		
	大 学 大 学 院	研 究 科 教 育 部 学 府	(修 士 ・ 博 士 前 期)
	専 攻	年 月 修 了 ・ 修 了 見 込	
勤 務 先 及 び 職 業	会 社 名 〒 TEL	役 職 名	
現 住 所	〒 TEL	E-mail	
合 格 通 知 等 受 取 場 所	〒 TEL		

履 歴 書

学 歴	年 月	事 項
	高等学校卒業から記入して下さい。なお、大学等で研究生として在学歴がある場合は、その期間も記入して下さい。	
職 歴		
備 考		
資格、賞罰等がある場合は記入して下さい。		

2023年4月入学
東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻
(博士後期課程)

写 真 票

写真欄

写真は脱帽上半身
4cm×3cm

受験
番号

※

分
教育
研究
野

教
指
導
予
員
定

ふりがな

氏
名

生 年 月 日

年 月 日生

注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。

2023年4月入学
東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻
(博士後期課程)

受 験 票

写真欄

写真は脱帽上半身
4cm×3cm

受験
番号

※

分
教育
研究
野

教
指
導
予
員
定

ふりがな

氏
名

生 年 月 日

年 月 日生

注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。
2 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
3 受験票は大切に保管しておくこと。

修 士 論 文 の 概 要

受験 番号	※	教育研究 分 野		氏 名	
修 士 論 文 題 目					
修 士 論 文 の 概 要					

注) 修士論文の内容を具体的、かつ簡明に記入すること。なお、必要に応じては図、表、式等を用いても良い。
※印は、記入しないこと。

研 究 業 績 一 覧

受験番号	※	教育研究分野	氏名	
学術論文、研究発表・報告、特許等の名称		発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	備考(共著者名又は共同発表者名)

注) 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。
 ※印は、記入しないこと。

研 究 計 画 書

受験 番号	※	教育研究 分野		氏名	
研 究 (希 望) 題 目					
研 究 (希 望) 計 画 の 概 要					

注) ※印は、記入しないこと。

受 験 番 号
※

志 望 理 由 書

東京農工大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）の入学志望者、私 _____
は下記により志望します。

年 月 日

所属・職名等 _____

氏 名 _____ ㊦

◎ 志望理由、過去の研究歴や職務内容と博士後期課程において希望する研究内容との関係等について2,000字以内で記入してください。

注) ※印は、記入しないこと。

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）

入学試験出願資格認定申請書

ふりがな 氏名	④	現職	
生年月日(年齢)	年 月 日 (歳)	現住所	〒 TEL - -
学 歴			
年 月 日	事 項		
職 歴 (研究・開発等の業務内容を詳しく記入して下さい。)			
年 月 日	事 項		
学会及び社会における活動状況			
年 月 日	事 項		

入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）に入学することを承諾します。

年 月 日

東京農工大学大学院

生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行の受付
日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄
に志願者住所・氏名を必ず記
入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大
切に保管し、ここに添付して
はいけません。
4. 納入された入学検定料は原則
返還しません。

※印欄は記入しないでください。

入学検定料払込用紙

- ・本払込用紙に、志願者(ご依頼人)の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。(受付局日附印のないものは無効)
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

切 り 取 っ て ご 使 用 く だ さ い

払 込 取 扱 票

00	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	2	0	8	4	6	3	4	2	6				3	0	0	0	0	
加入者名	国立大学法人 東京農工大学										料金			備考						
通信欄	※ 2022年度 入 学 検 定 料 東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 生物機能システム科学専攻博士後期課程 支払期限 2022年7月20日 必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。																			
ご依頼人	志願者住所(郵便番号)) ※ 志願者氏名(フリガナ) (電話番号 - -) 様												日附印							

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	2	0	8	百	十	万	千	百	十	番
			4	6	3	4	2	6					
加入者名	国立大学法人 東京農工大学												
金額	千	百	十	万	千	百	十	円					
				3	0	0	0	0					
ご依頼人	志願者氏名(フリガナ) ※ 様												
料金	(消費税込み)	日 附 印											
備考	円												

振替払込受付証明書(お客さま用) 〔大学提出用〕

(払込人⇒郵便局⇒払込人)

口座記号番号	00120-8-463426												
加入者名	国立大学法人 東京農工大学												
金額	千	百	十	万	千	百	十	円					
				3	0	0	0	0					
ご依頼人住所氏名	※(志願者住所氏名)												
	2022年度 入学検定料 大学院生物システム応用科学府												
	受付局日附印のないものは無効												
	日 附 印												

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください
切り取らないでお出しください

切り取らないでお出しください

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(私製承認東第43999号)

これより下部には何も記入しないでください。

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

入学者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

〔生物機能システム科学専攻（博士後期課程）〕
 Department of Bio-Functions and Systems Science (Doctoral Course)

- ① ※印欄は記入しないでください。
Do not fill in the section marked with a ※.
- ② このシールは、台紙のにり付けされたままの状態でご提出してください。
Submit this sheet without removing the stickers.

受付用シール

Reception Sticker

フリガナ Furigana	生年月日 Date of birth	出身大学 University	出身大学院 Graduate School	グループ Group	教育研究分野名 Areas of education/research	指導予定教員 Potential supervisor	学籍番号(本学在籍者のみ) Student ID number (For TUAT students only)	備考 Remarks
氏名 Name	性別 Sex	卒業年月 Graduation Year and Month	修了(見込)年月 (Expected) Graduation Year and Month					
				※				※
	男・女 Male Female	/ 月	/ 月					
ノウコウ タロウ	1996/5/31	東京農工大学 工学部	東京農工大学大学院 工学府		〇〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	21640000	
農工 太郎	男・女 Male Female	2021 / 3 月	2023 / 3 月					

連絡受信先シール

Contact Information Stickers

- ・郵便番号、住所及び氏名を4枚記入してください。
Fill in your potential department and division, postal code, address and name in each designated columns.
- ・住所及び氏名は正確に記入してください。また、出願後、住所を変更した場合は、すみやかに届け出てください。
Ensure your name and addresses are accurately provided. Notify the Admissions Section immediately if any changes take place after the submission of your application.

郵便番号
Postal code

住所
Address

氏名
Name

〒	-

殿	
(※)

〒	-

殿	
(※)

〒	-

殿	
(※)

〒	-

殿	
(※)